

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 5 月 14 日現在

機関番号：25403

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370299

研究課題名(和文) 18世紀以降のアイランド文学におけるアイランド語の伝統

研究課題名(英文) Irish language tradition in Irish literature since the 18th century

## 研究代表者

池田 寛子 (Ikeda, Hiroko)

広島市立大学・国際学部・准教授

研究者番号：90336917

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文)：18世紀以降のアイランド文学を視野に入れ、アイランド語文学と英語文学の関係性を追及した。資料の分析を通じてアイランド文学が多元性を志向する現代社会においてなぜどのような意義を持つかについて精査した。アイランド語とその伝統は周縁化の一途を辿ってきたが、アイランドの文化と文学を活性化する役割が期待され、またその期待がアイランド語を活かす上で大きな力を持ってきたことは特筆すべきである。

研究成果の概要(英文)：The aim of the project was to explore the relationship between Irish language literature and English literature in Ireland from the 18th century onward. The close examination of materials has been intended to pursue the meanings of Irish literature in the context of the growing awareness of the significance of diversity in the modern society. It is important to note that while the Irish language and its tradition have been marginalized, they have been expected to vitalize Irish culture and literature and the expectation has invigorated Irish.

研究分野：英語圏文学、アイランド文学

キーワード：アイランド文学 アイランド語 英語文学

## 1. 研究開始当初の背景

アイルランド語による文学的伝統に着目した共同研究「アイルランド語文献と音声資料による近代アイルランド言語文化の多角的研究」に関わり、また研究課題「二十世紀アイルランドにおける英語文学とアイルランド語文学の相関関係」の代表者として研究を進めてきた。アイルランドの英語文学研究者の間でアイルランド語文学の重要性は常に意識されてきた。国外のアイルランド語文学研究において、アイルランドにおける英語文学とアイルランド語文学の関係については、両者の間の断絶を強調し浮き彫りにしようとする立場と、両者の間の連続性を見いだそうとする立場の二つがある。アイルランドの英語作家のなかには、「アイルランド語文学の死」を指摘する声から、英語で執筆しつつもアイルランド語の存続に自らのアイデンティティの原点をもとめようとする者まで、さまざまな見解がある。価値観の多様化を視野に入れた上でのアイルランド語文学の位置づけを探る必要が、本研究の原動力になっている。

## 2. 研究の目的

大英帝国最初期の植民地であったアイルランドでは、英語化の波に押されてアイルランド語とその文化・文学が存続の危機に迫られた。これまでアイルランド作家による英語の文学作品は高い評価を得てきたが、その文学と文化の底流にはアイルランド語があるという説は根強い。本研究は、アイルランド語文学とアイルランドの英語文学の関係性を追及しつつ、アイルランド文学の特質に迫る。具体的には、アイルランドの歴史や社会の状況を踏まえた上で、アイルランド語文学の継承と変容という観点から、アイルランド作家による英語作品を選定し、精読する。アイルランド語世界と英語世界の二極化が確立された18世紀以降から現代を視野に入れ、「アイルランド文学」が、多元性の尊重に向かおうとす

る現代社会においてどのような意義を持つかについての深い考察をめざしている。

## 3. 研究の方法

英語とアイルランド語の作品を精読する。アイルランドの図書館調査で文献を入手してこれを読解、検討し、アイルランド使用地区で情報を収集してこれを整理、分析して綿密に検証する。英訳のないアイルランド語作品については、アイルランド語詩人や、アイルランド語話者の助言を仰ぎつつ、読解を進める。

## 4. 研究成果

アイルランドでの資料収集を計画通り図書館やアーカイブで行った。入手した論文、文献を以下の学会発表や論文作成に活用した。一貫してアイルランド語文学に焦点を当て、その研究成果を次のようなかたちで公表した。

2013年度の主要な成果公表とその内容

(1) 日本英文学会第85回大会シンポジウム第4部門「環大西洋の脱植民地詩学」のパネラーの一人として「W.B. Yeats とアイルランド語文化・文学の変容」について発表。発表内容の要旨を *Proceedings* に公開。

(2) 2012年度のシンポジウム報告内容を加筆修正し、論文「リアダンとクリシルの物語を貫く喪失の痛み - アイルランド語作品英訳の『創造性』」としてまとめ、『英詩評論』(2013)で公表した。

(3) 日本国際アイルランド文学協会(The 30th International Conference, IASIL)のシンポジウム I: Re-Presentations: Contemporary Poetry and Ireland で18世紀のアイルランド語詩『真夜中の法廷』の翻訳とその今日的意義について“*The Contemporary and Global Significance of Brian Merriman’s Cúirt an Mheanoíche (The Midnight Court): The Challenge of Translating*

the Irish-language Poem into Japanese” というタイトルで発表した。

2014年度の主要な成果公表とその内容

(4) 共著『アイルランド文学：その伝統と遺産』の第三章で18世紀アイルランド語詩を論じて「一八世紀アイルランド語詩：この世にはない法廷を求めて - 二つの詩篇に響くアイルランド女性の声」を執筆した。

(5) イェイツの初期の劇詩におけるアイルランド語の伝統の影響を論じた“The Explorations of Ancient Memories: Shadows of Irish Tradition in W.B. Yeats's *The Wanderings of Oisín*.”を *Journal of Irish Studies*, Vol. 26 に発表した。

(6) ブライアン・メリマンのアイルランド語詩『真夜中の法廷』を共訳し、その解説部の第5章でこのアイルランド語詩と英語文学・スコットランド文学との関わりを概説し、第8章ではメリマンの英語文学への影響をW. B. イェイツとフランク・オコーナーに焦点を当てる形で論じた。

(7) ソウルで開かれた韓国イェイツ学会主催の国際学会でイェイツとアイルランドのフォークロアの世界について『キャスリン伯爵夫人』という作品に焦点を当てる形で論じた。

(8) アイルランド研究年次大会シンポジウム1「転換期のメリマン—『真夜中の法廷』の解釈—」のパネラーの一人として「異界としての『真夜中の法廷』」(*Cúirt an Mheán Oíche as the Other World*) について発表した。

2015年度の成果公表とその内容

(9) イギリス・ロマン派学会のシンポジウム「アイルランドとロマン主義—「国民国家」と文学[Ireland and Romanticism: Nation State and Romanticism]」に参加し、アイルランド語詩の英訳本の先駆けとしてのシャーロット・ブルックの『アイルランドの詩歌の名残』を検討し、その中に表れた「ジャコバイト思想の痕跡」を分析した。

(10) ソウルで開かれた韓国イェイツ学会の国

際学会(2015 International Conference on W. B. Yeats and Invention of Poetics in Literature)に参加し“Reflections and Transformations of the Irish Language Tradition in W.B. Yeats's *On Baile's Strand*”というタイトルでイェイツの劇『バリヤの岸辺で』におけるアイルランド語の伝統の影響と変容について論じた。

(11) 昨年度の韓国での国際イェイツ学会での発表を大幅に加筆修正し、“Exploring Irish Soul: A Symbolical Reading of W. B. Yeats's *The Countess Cathleen*”としてジャーナル *The Yeats Journal of Korea: An International Journal of Yeats and Modern Literature* に公開した。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

池田寛子、「リアダンとクリシルの物語を貫く喪失の痛み - アイルランド語作品英訳の『創造性』」、『英詩評論』2013(平成25)年6月第29号 pp.26-36. 査読有

Ikeda, Hiroko. “The Explorations of Ancient Memories: Shadows of Irish Tradition in W.B. Yeats's *The Wanderings of Oisín*.” *Journal of Irish Studies*, Vol. 26. Tokyo: Shichigatsudo. 2014 (平成26)年10月 pp. 42-52. 査読有

Ikeda, Hiroko. “Exploring Irish Soul: A Symbolical Reading of W. B. Yeats's *The Countess Cathleen*.” *The Yeats Journal of Korea: An International Journal of Yeats and Modern Literature*. Vol. 48. 2016. pp.187-206. 査読有

[学会発表](計6件)

池田寛子、「W.B.Yeats とアイルランド語文化・文学の変容」, シンポジア第4部門「環大西洋の脱植民地詩学」日本英文学会第85回大会(於:東北大学)2013年5月25日

Ikeda, Hiroko. "The Contemporary and Global Significance of Brian Merriman's Cúirt an Mheanoíche (The Midnight Court): The Challenge of Translating the Irish-language Poem into Japanese." The 30th International Conference, IASIL JAPAN. (於:京都ノートルダム大学)2013年10月12日

Ikeda, Hiroko. "W. B. Yeats and the World of Irish Folklore." 2014 International Conference on W.B. Yeats and Invention of Poetics in Literature. (於: Hanyang University, Seoul) 2014年10月11日

池田寛子、「異界としての『真夜中の法廷』」, (*Cúirt an Mheán Oíche* as the Other World) シンポジウム1「転換期のメリマン—『真夜中の法廷』の解釈—」アイルランド研究年次大会(於:日本大学)2014年11月30日

Ikeda, Hiroko. "Reflections and Transformations of the Irish Language Tradition in W.B. Yeats's On Baile's Strand." 2015 International Conference in celebration of the 150 Anniversary of the Birth of W.B. Yeats: Poetics and the Individual Talent (於: Hanyang University, Seoul) 2015年9月12日

池田寛子、「『私たちのアイリッシュ・ミュージック』 - シャーロット・ブルックの『アイルランドの詩歌の名残』におけるジャコバイト思想の痕跡」, (於:奈良教育大学)2015年10月18日

[図書](計2件)

池田寛子、「第3章 一八世紀アイルラン

ド語詩: この世にはない法廷を求めて - 二つの詩篇に響くアイルランド女性の声」, 『アイルランド文学: その伝統と遺産』開文社出版 2014(平成26)年6月 p.77-96

池田寛子、「第5章 英語文学・スコットランド文学との関わり」(pp.140-146)、「第8章 英語文学への影響のはじまり—W. B. イェイツとフランク・オコーナーに於けるメリマン」(pp.192-211)、第一部「ブライアン・メリマン『真夜中の法廷』」(共訳)『真夜中の法廷 - 18世紀アイルランドの至宝』彩流社 2014 (平成26)年11月25日

[産業財産権]  
出願状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:

[その他]  
ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

池田 寛子 (IKEDA, Hiroko)

広島市立大学・国際学部・准教授

研究者番号：90336917

(2)研究分担者

( )

研究者番号：

(3)連携研究者

( )

研究者番号：